

最近よく聞く言葉＜ワイド＞

新型コロナウイルス特集

クラスター/3密/濃厚接触者/PCR検査

新型コロナウイルス感染症が世界に広まり、間もなく半年。関連ニュースでよく耳にする言葉も多くあります。そこで「最近よく聞く言葉」ワイド編として、新型コロナウイルス関連の言葉を集めてみました。

【COVID-19】

Corona Virus Disease 2019 の略で、新型コロナウイルス感染症を指す。2020年2月11日に世界保健機関（WHO）が正式に名称を決定した。コロナウイルスは、主に動物に感染するウイルスだが、時に人に感染することもある。MERS（中東呼吸器症候群）やSARS（重症急性呼吸器症候群）ウイルスもコロナウイルスに属する。

【クラスター】

小規模な集団感染や、それによってできた感染者の集団。

【オーバーシュート】

爆発的に感染者が増えること。本来は金融・証券用語で、相場や有価証券の行き過ぎた価格変動を言う。

【パンデミック】

感染症（伝染病）の世界的な大流行を言う。地域流行はエンデミック、特定のコミュニティ内の流行はエピデミック、突発的な感染の集団発生はアウトブレイク。

【緊急事態宣言】

改正新型インフルエンザ対策特別措置法に基づいて政府が発令する宣言。首相が対象地域や期間を指定して発令する。対象地域の都道府県知事は住民に外出の自粛を要請したり、事業者には施設の利用制限を求めたりできる。ほとんどの要請や指示には罰金や罰則はないが、臨時の医療施設を造るための土地や家屋は所有者の同意なく収容ができる。医薬品などの保管を事業者に指示することもできる。安倍首相は4月7日に東京都など7都府県を対象に5月6日までとして新型コロナウイルス感染症緊急事態を宣言。4月16日に対象地域を全国に拡大した。その後、段階的に宣言を解除した。

【新型コロナウイルス感染症対策専門家会議】

新型コロナウイルス感染症対策のために今年2月14日に設置された政府の諮問機関。座長には国立感染症研究所の脇田隆字所長が就任した。

【3密】

「密閉空間」「密集場所」「密接場所」を指す。コロナ対策ではこの3密の場所を避けることが求められている。

【ソーシャルディスタンス】

「社会的距離」を意味するが、コロナ対策では人への感染を防ぐための距離を指す。厚労省は、この距離をウイルスの飛沫から考え概ね2m程度としている。

【帰国者・接触者相談センター】

新型コロナウイルスに感染したと考えられる場合に最初に連絡すべき窓口。厚労省の通達を受けて各都道府県及び政令都市が保健所内に設置している。

【濃厚接触者】

患者と同居、または長時間にわたり同じ車内、機内等にいた人、適切な感染防護無しに患者を診察、看護もしくは介護した人、患者と1mほどの近い距離で15分以上いた人などを指す。

【PCR検査】

核酸合成酵素連鎖反応（PCR）を応用した新型コロナウイルスの検査法。鼻奥から採取した細胞液の中に新型コロナウイルスだけが持つ遺伝子が存在しているかどうか調べる。遺伝子が検出された人は陽性患者となる。

【ECMO（エクモ）】

「体外式腹膜人工肺」という装置で、肺の機能を使うことが難しい重篤な患者に使われる。人工呼吸器は肺の機能を補助するものだが、ECMOは肺の機能を代替する。

Extracorporeal Membrane Oxygenationの略語。

【N95マスクとサージカルマスク】

N95マスクは飛沫感染防止に有効とされる医療用マスク。N95はNIOSH（米国労働安全衛生研究所）が定めた規格の名称で、油分を含まない空気中の固体・液体の煙霧質の95%以上を除去するとしている。サージカルマスクは、不織布を使用した使い捨てマスクで、人から排出される飛沫が大気中に拡がるのを防ぐ。市販のサージカルマスクのほとんどはN95の機能を備えていない。

【発熱外来】

主に感染症が流行している時期に設置する診察用の施設を言う。通常の診察科ではない。感染症をほかの患者さんにうつすことなく診断する目的で設置する。臨時に設けることが多いため、病院内の空きスペースを使ったり、仮設の建物やテントを使ったりすることもある。

【アビガン】

インフルエンザ治療薬として国内で開発された薬剤ファビピラビルの商品名。新型コロナウイルス感染症の治療薬候補として注目されるが、明確な有効性は示されていない。

【レムデシビル】

米国の製薬会社がエボラ出血熱の治療のために開発した抗ウイルス薬で、厚労省が5月7日、国内で初の新型コロナウイルス感染症の治療薬として承認した。原則、重症患者に投与する。

【オンライン診療】

病院やクリニックに行かなくともパソコンやスマホを通して診察を受けられる診療方法。遠隔診療。映像と音声で医師の問診を受け、処方せんを出してもらい、薬を入手する。2018年度診療報酬改定で保険導入された。

【医療崩壊】

医療安全に対する過度な社会的要求や医療への過度な期待、医療費抑制政策などにより、安定的・継続的な医療提供体制が成り立たなくなることの意味する俗語。

総合南東北病院広報誌「南東北第339号」より転載